

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～28℃台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり23トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マイワシが1日1統当たり18トンの水揚げで、前週の6倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり22トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり85kgの水揚げで、前週の2.1倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり782kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり194kgの水揚げで、前週の3.8倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.3トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり2.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり72kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり282kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり36kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/5～10/9の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆付近で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）4日延35隻、総計4,760箱、1航海最高373箱、平均136箱。スルメイカ（20～30入）4,274箱、ケンサキイカ（2～4立）486箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>